

令和 2 年度 事業報告

事業名	事業内容等
公1： キジ保護管理	①秋に5地区猟友会でキジ95羽を放鳥、37羽に足環を装着。 ②キツネ45頭、タヌキ161頭、テン9頭の合計215頭を狩猟により捕獲。 ③県から受託し、秋に8地区猟友会で、キジ225羽を放鳥、オス90羽に足環を装着。
公2： 鳥獣保護管理の 担い手確保	①狩猟免許試験予備講習会を県から受託し3回開催。網猟20名、わな猟222名、第一種銃猟94名、第二種銃猟7名、延べ343名が受講。また、県猟主催により、猟銃等初心者事前講習を4回開催、42名が受講。 ②経験の浅い51歳以上の狩猟者を対象に射撃講習及びワナの作り方・架設の仕方についての講習会を開催。また、県主催の新規狩猟者確保定着促進事業の企画会議へ若手狩猟者の派遣及び捕獲の担い手研修会への参加や講師派遣等により、一般の方や新人狩猟者との意見交換を行った。
公3： 有害鳥獣捕獲	①県から受託し、5～10月の間に鳥類5,788羽、クマ22頭、その他獣類289頭の有害鳥獣を捕獲。安全に実施するため事故防止推進事業を実施、延べ192日3,521名が参加。 ②クマの追払い等を目的として、県、煙火協会岩手県支部と共催で、10月に花巻市東和町において、煙火消費保安講習会を開催、98名が受講。 ③行政機関からの要請に応じて出動できるよう銃検査等を受け、体制を整えている。 ④シカの被害が深刻なうえ放射性物質の影響による出荷制限があり、狩猟による捕獲圧が減少することに対応する為、指定管理鳥獣等捕獲事業を県から受託し、早池峰山周辺地域を除く県内全域でニホンジカ7,495頭、早池峰山周辺地域では807頭捕獲。併せて、新たに侵入が見られるイノシシについても213頭捕獲。更に、同事業を適切に実施するため、各地区猟友会ごとに技能知識研修、射撃訓練を実施した。また、「早池峰山周辺一斉捕獲旬間」を設け12月に重点捕獲を行い10日間で112頭を捕獲。事業終了後は山野一斉清掃活動を行い、延べ283名が参加。野生動物の死骸等の埋設などの処理や空き缶などのゴミも拾い集めた。 ⑤ニホンジカ被害防除事業（誘引捕獲）を三陸中部森林管理署、三陸北部森林管理署、岩手南部森林管理署遠野支署から受託し、大船渡市、宮古市、遠野市内で実施。 ⑥2月1日「カラス一斉捕獲の日」を中心に、ボランティアによるカラスの捕獲を21地区猟友会で実施。延べ44日、786名の参加で406羽捕獲。
公4： 調査研究	①狩猟指導員が中心となって野生鳥獣の目撃情報や生態に関する資料を収集。 ②カモシカ生息調査を県から受託し、8市町村、26区域で実施。 ③近県で豚熱に感染したイノシシが確認されたことから県から検体採取依頼があり、受託し、134検体提出。 ④放射性物質の影響を調査するため県から受託し、ヤマドリ20羽を捕獲し個体のデータ及び試料を提供。
公5：捜索活動 協力	①事業の内容や実施方法について再検討し、県警察本部と協議を継続。
収1：狩猟者登録 事務等	①猟銃等火薬類無許可譲受票の交付事務を行った。
他1：広報活動	①会員、関係機関向けに会報を発行。ホームページの更新を行った。
他2：地区猟友 会活動支援	①9月に花巻市内で会長・事務担当者会議を開催し意見交換を行った。 ②6月に定時総会において、表彰を行った。
他3： 適正狩猟	①狩猟指導員による、狩猟期間中のパトロール指導や各地区の研修会等での指導を実施。各種指導員による、安全狩猟指導、射撃訓練指導等を行った。 ②若手狩猟者定着促進のため青年部による総会を開催した。経験の浅い50歳以下の狩猟者を対象に射撃講習及びワナの作り方・架設の仕方についての講習会を開催。又、女性会員交流会及び講習会を開催し、意見交換、射撃講習、わな講習を行った。 ③県外狩猟者登録事務を県から受託、併せて射撃訓練の励行をお願いした。 ④8月2日矢巾総合射撃場で安全狩猟射撃大会を開催、80名参加。
他4：記念事業	①令和6年度設立60周年記念事業開催に向けて、記念事業積立を行った。

